

この度は、ハイパーシルクガンをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
末長く御愛用頂くために、下記の使用法をよくお読みの上、正しくご使用下さいませようお願い致します。

【ハイパーシルクガンの特徴】

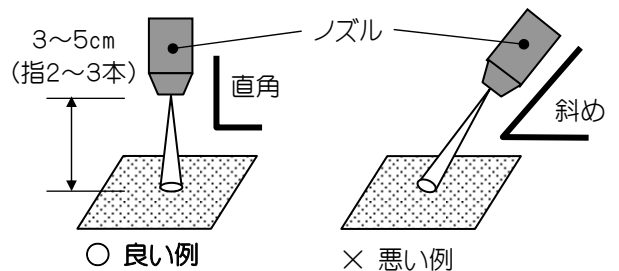
ハイパーシルクガンは、従来のシルクガンシリーズと比べると、ポンプ形式変更により霧の密度が濃く、噴霧圧力が格段に上がっております。よって設定回転数が低く設定されており、一瞬“力が弱い？”と感じてしまいがちですが、実際には低回転でも従来型よりも、よりよく落とします。

“静かによく落とす” とご理解頂ければ幸いです。

◎ 角度及び距離 (図1)

生地より3~5cmほど離して、また生地に対して液が垂直に当たるようにしてご使用下さい。
生地に対して液が斜めに当たったり、生地との距離が近すぎたりすると、生地よれ等の原因にもなりますので、ご注意下さい。

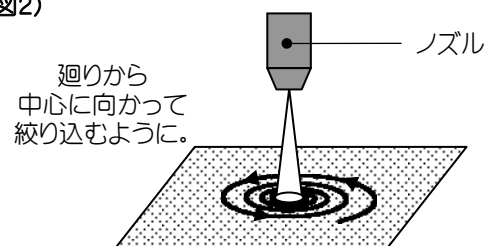
(図1)



◎ 手順 (図2)

シミ、汚れの中心からいきなり処理すると、シミ、汚れが回りに広がる場合がありますので、汚れに対して周りから中心へ絞り込む感じに落としていく様になると、汚れが回りに広がりにくく、効率の良いしみ汚れ落としが出来ます。

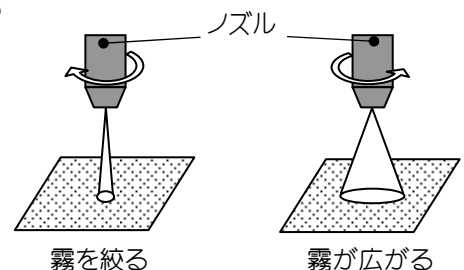
(図2)



◎ ノズルについて (図3)

- ノズル本体を左右に回すことにより、霧の状態が調整出来ます。生地厚や汚れ度合い等の状況によって、調節してご使用下さい。
- ハイパーシルクガンには、霧を絞りすぎて生地を痛めない為に、調整可能なストッパーが付いています。詳しい調整の方法は、別紙ノズルストッパー設定方法を御覧下さい。

(図3)



◎ 圧力調整 (図5)

ハイパーシルクガンのBOXに付いているダイヤルによって、圧力を簡単に調整することが出来ます。
生地厚や汚れ度合いによって、ダイヤルを調整しながらご使用下さい。

◎ ドレン液 (図7)

ハイパーシルクガンはポンプ内のドレン止めOリングによって、基本的にはドレン液が出ない構造になっていますが、経年使用によりOリングが消耗した場合は、ヘッドとグリップの間から液が漏れてきます。

その場合は(図7)を参考に、ドレン止めOリングを交換して下さい。

(頻繁にドレン止めOリングが破損又は消耗してドレンが出るようになる場合は、ポンプ内部の異常が考えられますのでその場合はお手数ですが販売店等に御連絡下さい。)

◎ コントロールBOX (図6)

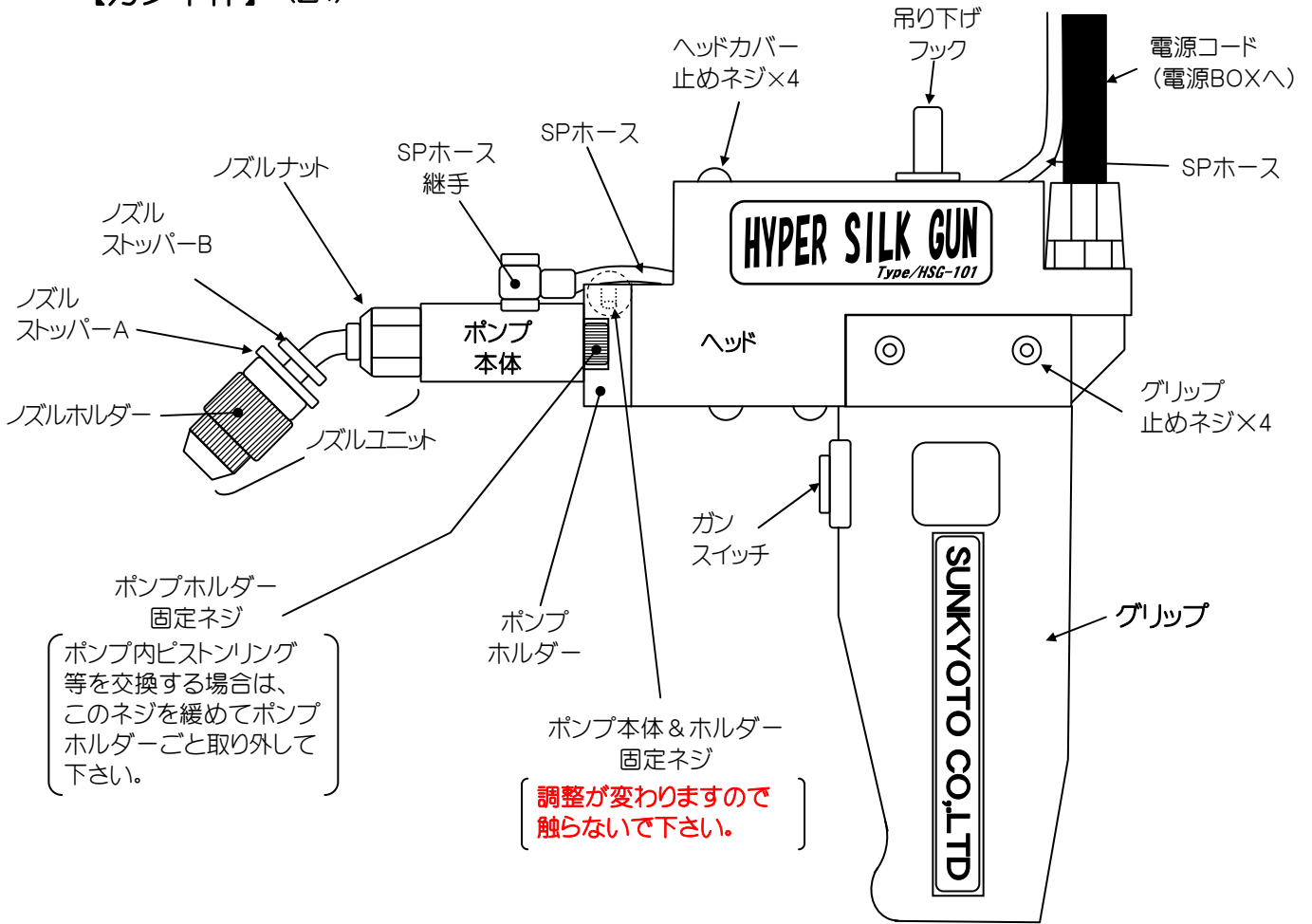
コントロールBOX側面のDC Inコネクター(2箇所)に、付属の変圧器を必ず2個共接続し、100V電源へ差し込んで下さい。
2個接続しないとガンが正常に動作しなくなります。

ハイパーシルクガンのコントロールBOXには、内部に異常が発生すると安全装置が働き、自動的に電源をカットする機能が付いています。安全装置が働くとパネル前面のアラームランプが点灯しますので、その場合は一度POWER SWを切り、再度入れ直して下さい。(リセット機能が付いてます。)

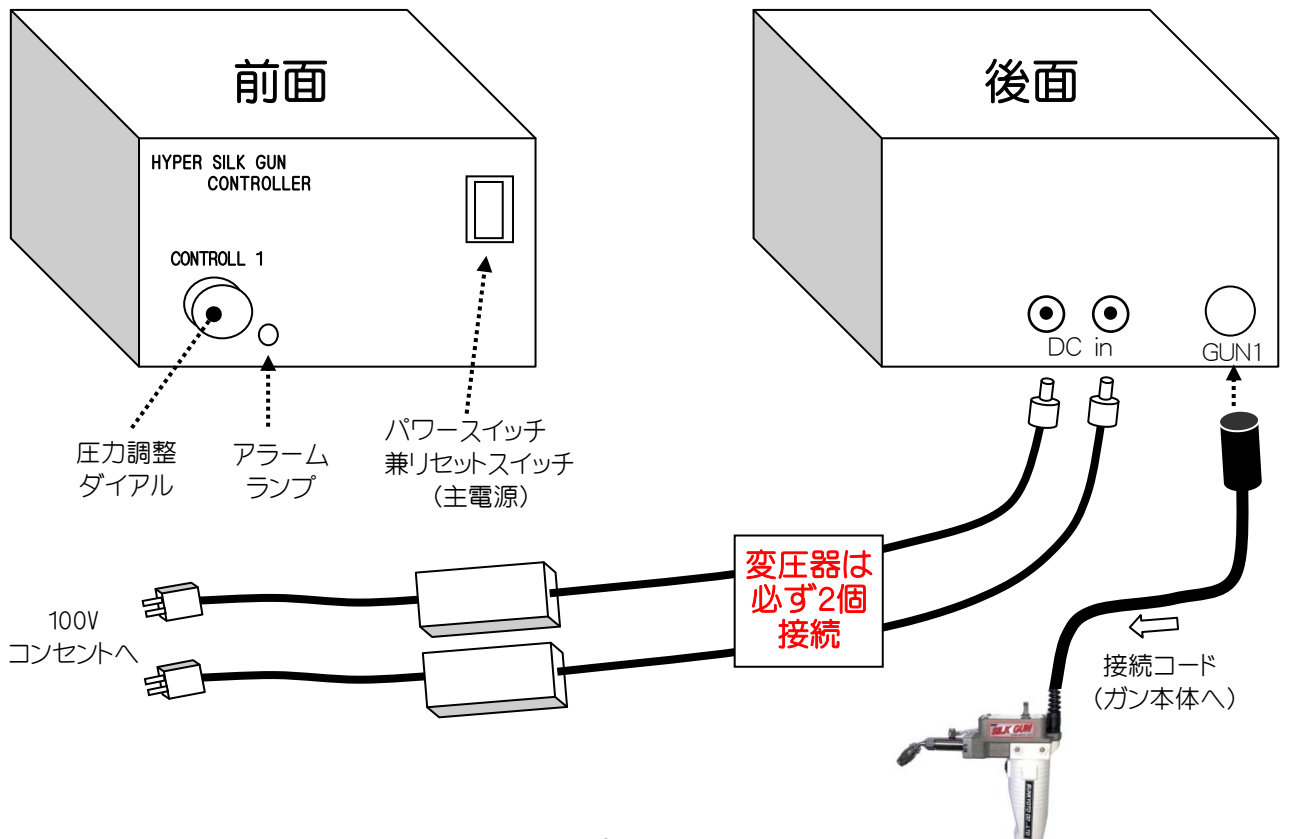
(何度もアラームスイッチが点灯する場合は、内部の故障が考えられますので、お手数ですが販売店等に御連絡下さい。)

【ハイパーシルクガン 基本図】

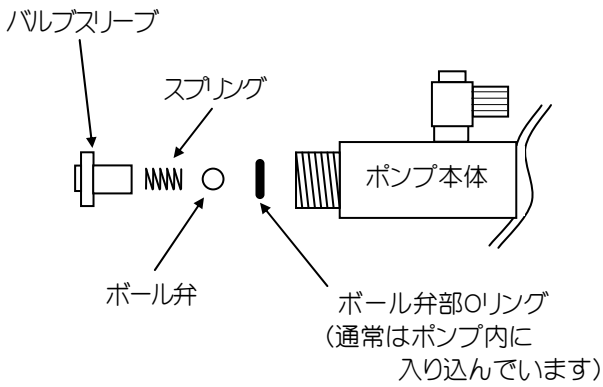
【ガン本体】 (図4)



【電源BOX】 (図5)
(Type/101-S II)



ポンプ内ボール弁 分解図 (図6)



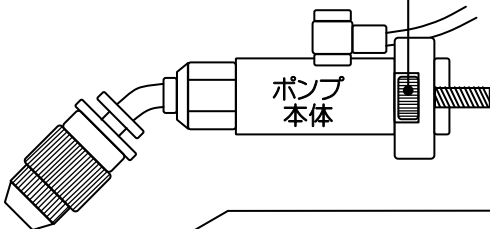
液が上がらない又は液が下がってしまう場合は、ボール弁部のごみ付着等が考えられますので、左図を参考にして、ごみを取り除いて下さい。

- ① ノズルナットをゆるめてノズルユニットをポンプ本体より外して下さい。(図4参照)
- ② ポンプ先端よりバルブスリーブを外して下さい。
- ③ ポンプ中にスプリング & ボール弁が残っているようでしたら、それらを取り出して、ボール弁に付着している異物等をきれいに取除いて下さい。
- ④ 念の為、ポンプの中も綿棒で掃除して下さい。
- ⑤ ボール弁部Oリングは基本的にはポンプ内に入り込んでいますが、状況によっては細い棒状のようなもので取り出して、内部も掃除して下さい
- ⑥ ①～③の逆の順で組んで下さい。

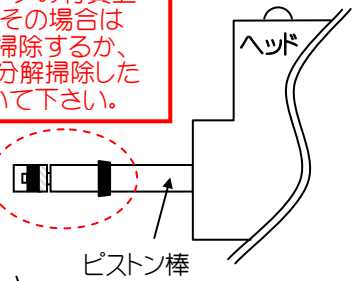
ピストンリング & ドレン止めOリング 交換図 (図7)

【ピストンリング及びドレン止めOリングは消耗品とお考え下さい】

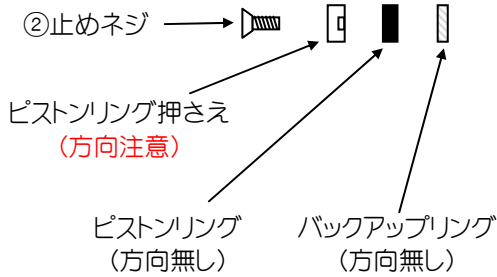
①ポンプホルダー
固定ネジ×2箇所



使用中、回転ムラ等が起こる場合は、下記部分へのゴミ等の付着が考えられます。また、ピストンリングの材質上使い始めは摩耗粉が出ることがあります。その場合は可能であれば組んだ状態でガン等で洗浄掃除するか、この部分を分解して洗浄掃除して下さい。分解掃除した場合は、ねじ止めの粉等をしっかり取り除いて下さい。



拡大図



〔ドレン止め
Oリング
拡大図〕

ドレン止めOリングを交換する場合は、滑りが良くなるようにピストン棒先端及びOリングにグリース等を塗布して挿入してください。

【ピストンリング交換方法】

噴霧圧力が落ちた等、ガンに不調が出た場合、ピストンリングの消耗が考えられますので交換してください。

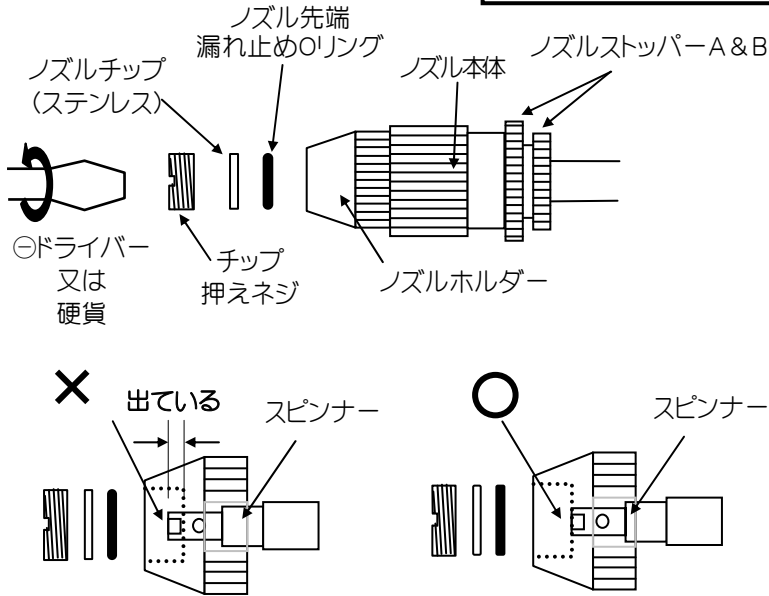
- ① ポンプホルダー固定ネジ2箇所を緩めて、ヘッドよりポンプ本体を引き抜いてください。
- ② ②の止めネジを緩めて、ピストンリング押さえ・ピストンリング・バックアップリングを外して下さい。
- ③ 念のため、細部を清掃して下さい。
- ④ 新品のピストンリングと交換して下さい。
(バックアップリングは基本的にはそのまま使用できますが、破損等あるようでしたら交換をお勧めします。)
- ⑤ ②で外した部品を順序を間違えないように取り付けて下さい。
- ⑥ ヘッドへ挿入する前に、滑りを良くするためにピストン棒各部へオイル又はグリースを塗布して下さい。
- ⑦ ポンプ本体をヘッドに取り付けてポンプホルダー固定ネジをしっかり締め付けて下さい。

【ドレン止めOリング交換方法】

経年使用によりOリングが消耗してヘッドとグリップの隙間から液が漏れてきた場合は上図を参考にして、ドレン止めOリングを交換してください。

- ① ポンプホルダー固定ネジ2箇所を緩めて、ヘッドよりポンプ本体を引き抜いてください。
- ② ②の止めネジを緩めて、ピストンリング押さえ・ピストンリング・バックアップリングを外して下さい。
- ③ 先端の細い物で、消耗したドレン止めOリングを取り外して下さい。
- ④ Oリング及びピストン棒に滑りが良くなるようにグリース等を塗布し、拡大図を参照に新しいドレン止めOリングが変形しない様に注意しながら、ピストン棒に挿入してください。又方向にも注意してください。少し広がっている面がポンプ本体側になります。(拡大図参照)
- ⑤ ②で外した部品を順序を間違えないように取り付けて下さい。
- ⑥ ポンプ本体をヘッドに取り付けてポンプホルダー固定ネジをしっかり締め付けて下さい。

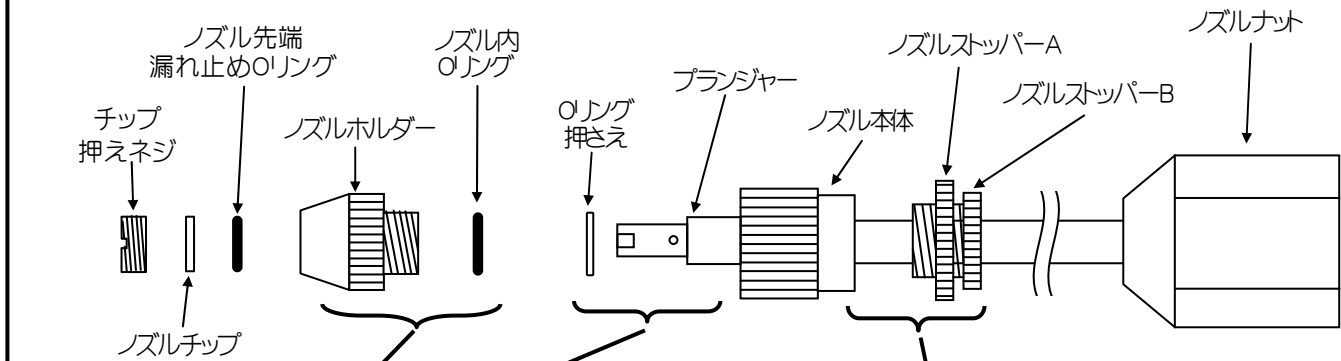
ノズル先端 分解図 (図9)



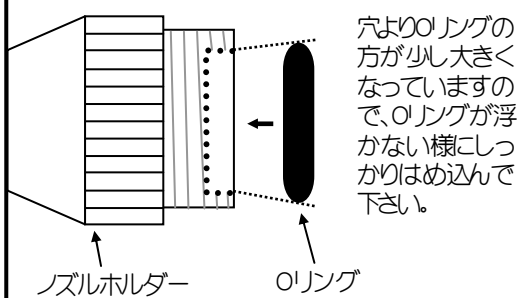
霧が割れたり、液が急に出なくなった場合はノズル先端チップにゴミが詰まった可能性がありますので、左図を参考に分解して頂き、異物を取り除いてください。

- ① ノズル本体を、霧を絞る状態方向に回します。
- ② ノズルホルダーをしっかりと固定して頂き、チップ押さえネジの先端より⊖ドライバーや硬貨等でネジを緩めて外してください。
- ③ ノズルチップ・ノズル先端パッキンを取り出し、ノズルホルダー内のゴミを綿棒等を使用して取り除いて下さい。穴が詰まっている場合は、針などで穴を傷めない様にして取って下さい。
- ④ 左図を参考に、ノズル本体を霧を絞る状態方向に回して、パッキン・チップを入れてチップ押さえネジで締め付けたとき、プランジャーがノズル先端パッキンに干渉しない事を確認しながらチップ押さえネジをしっかりと締め付けて下さい。

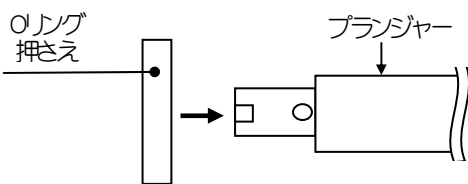
ノズル 分解図 (図10)



ノズル内Oリング

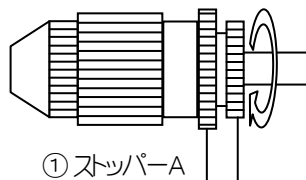


穴よりOリングの方が少し大きくなっていますので、Oリングが浮かない様にはしっかりとめ込んで下さい。



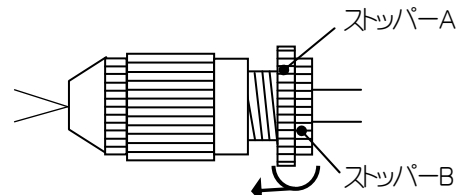
Oリング押さえは、プランジャーに差し込んでからノズルホルダーと組み立てて下さい

ストッパー外し方

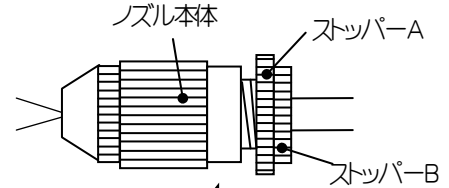


- ① ストッパー-Aを緩めてから
- ② ストッパー-Bを外します。

ストッパー設定



ストッパーを利かせたい霧の状態にノズルを回転調整した後、ストッパー-Aとストッパー-Bを合わせて矢印方向に閉めていきます。



ストッパー-A・Bの回転が止った状態で、次にストッパー-Aだけを矢印の方向に閉めて、最終でペンチ等でノズル本体と、しっかりと締め合わせて固定して下さい。

故障かな？ と思う前に・・・

症 状	原 因	対 処 法
☆モーターの回転数が落ちる！	★使い始めは機械各部が慣れていない為 回転が上がりにくいことがあります ★ご使用の液に粘度がありませんか？	◎液を通さずに15～20秒カラ打ちして下さい。 ◎粘度の少ない液をご使用下さい。
☆コントロールBOXの電源が入らない！ ☆ガンの回転が遅い！	★コンセントが抜けていませんか？ ★ヒューズが切れていませんか？ ★変圧器の接続が1台ではないですか？	◎コントロールBOX背面のヒューズを交換して下さい。(2アンペア) ◎変圧器1台の接続では電気容量が足りません。必ず2台共接続して下さい。
☆コントロールBOXの電源は入っているのに、ガンが動かない！	★BOXとガンのコードが確実に接続されていますか？ ★ノズルの穴がふさがっていませんか？ ★アラームランプが点いていませんか？	◎接続部を確認して下さい。 ◎ノズル分解図を参考に、ノズルホルダー内やノズルチップ部の異物を取り除いてください。 ◎一度主電源をOFFにして3秒程してから再度電源をONして下さい。(リセット機能) (繰り返しアラームが点灯する場合は、BOXまたはガン本体の異常が考えられます。ご使用をお止め頂き販売店様又は当社にご連絡下さい。)
☆霧の方向が急に変わる、霧が割れる ☆ノズルの繋ぎ目から液漏れがする！ ○ノズルナットの部分 ○ノズル先端部分 ○ノズルストッパーの部分	★ノズルの中に異物が入ってませんか？ ★ノズルナットがしっかり締まっていますか？ ★チップ押さえネジがしっかり締まっていますか？ ★ノズル本体とノズルホルダー間がゆるんでいませんか？ ★ノズル内Oリングが消耗していませんか？	◎ノズル先端分解図を参考に、ノズルホルダー内の異物を取り除いてください。 ◎14mmスパナ等でポンプ本体にしっかり締めつけて下さい。 ◎ノズル先端分解図を参考に、一度チップ押さえネジを緩めて、プランジャーの状態を確認してから○ドライバー等でしっかり締め付けて下さい。 ◎AB間を2本のペンチ等でしっかり締めつけて下さい。 ◎ノズル分解図を参考に、ノズル内Oリングを交換して下さい。
☆液が上がってこない！	★ノズルの穴がふさがっていませんか？ ★ポンプ内ボール弁にごみがついていませんか？	◎ノズル内の異物を取り除いてください。 ◎ポンプ内ボール弁分解図を参考に、ゴミを取り除いて下さい。
☆液が下がる！	★ポンプ内ボール弁にごみがついていませんか？ (ポンプ内の真空が保たれずに液が下がってしまいます。) ★ホースの何処かで穴が開いていませんか？ (ポンプ内の真空が保たれずに液が下がってしまいます。)	◎ポンプ内ボール弁分解図を参考に、ゴミを取り除いて下さい。 ◎ガンを打っている状態で、ホース内に気泡が発生している箇所があるようでしたらホースを交換して下さい。
☆水圧が弱くなった！ ☆液が出なくなった！ ☆回転にムラが出てきた！	★コントロールBOXの圧力調整ダイヤルが動いていませんか？ ★ピストンリングの不具合が考えられます。 ★ピストンリングのごみ等の付着が考えられます。	◎コントロールBOXの圧力調整ダイヤルを確認して下さい。 ◎(図7)ピストンリング交換図を参考に、リング部の清掃又は交換をして下さい。
☆ヘッドとグリップの継ぎ目より液が出てきた！	★ドレン止めOリングの消耗が考えられます	◎(図7)ドレン止めOリング交換図を参考に、Oリングを交換して下さい。

警 告

- ☆ 引火性のある液は危険ですので、ご使用にならないで下さい。
- ☆ ハイパーシルクガンの噴霧液は高圧力ですので、お子様が誤って手の触れる事のない様御注意下さい。
- ☆ ノズルの先を人の顔などに向けないように、御注意下さい。
- ☆ ハイパーシルクガンをしみ抜き以外の目的で使用しないで下さい。
- ☆ ハイパーシルクガンは精密機械なので、指定箇所以外は絶対分解等しないでください。
又指定箇所の部品交換時は必ず電源プラグを抜いてから行って下さい。

株式会社 サン京都

〒600-8885 京都市下京区西七条南月読町71-6
TEL (075) 315-2808(代) FAX (075) 321-1895
URL <http://www.sunkyoto.com> E-mail info@sunkyoto.com